

さらん

第7号

2012年10月 発行

編集発行

特定医療法人社団仙齢会

はりま病院 広報委員会

高齢化社会を迎えた将来の日本の医療について



はりま病院 院長 大田博之

日本の医療のレベルは世界的に非常に高く評価されています。皆保険制度により、医療機関へのアクセスが非常にしやすいこともあり、新型インフルエンザが流行した時期でも、世界的に見て死亡者が非常に少なかったことが報告されています。医療費も世界的に見ると安く抑えられており、質の高い医療を安い医療費で提供しているわけです。

現在、日本は世界に類をみないほどの速度で高齢化が進んでいます。9月17日、敬老の日には日本人の65才以上が3000万人を突破し、全体の24.1%およそ4人に一人が65歳以上となったことが発表されました。高齢化はさらに進み、今後毎年高齢者の比率が増え続けていきます。そのため、今後どんどん年金、医療費、福祉費がふくれあがってきます。このたび、消費税増税法案が可決され、増税分がすべて医療や福祉の増加分に充填される予定です。

しかし、今でさえ国の支出は国債による借金でまかなっているような状態であり、このままのペースで増え続けると世界的に高く評価されている質の高い医療を続けることができなくなり、医療、年金、福祉どころではなくなってしまい、日本そのものが沈没してしまいます。

社会保障・税一体改革により医療機能再編をめざした2025年モデルといわれる改革が2012年の診療報酬改定によりスタートしました。

それぞれの病院が、現在のような自院の経営を中心に考えた医療を継続していると、このままの医療制度を継続していくことができません。医療費抑制のためには、出来高制から疾患により診療報酬が定額制のDPCへ診療報酬制度が変わり、世界に比べ非常に長いといわれる入院日数を短縮化することが求められていきます。

また、我々国民は、予防できる生活習慣病に対しては自己管理をしっかりと行なっていき、できるだけ病院に通院しなくていい健康な体を作っていくことが求められます。『治す』医療から『支える』医療へ向かっていくことが提言されています。

新病院 3階病棟

病棟師長 真島 尚代
看護師 片田 恵里

3階病棟は39床で主に、外科・整形外科の急性期の患者様が多く入院されています。消化器系の手術を受けられる方、内視鏡治療をされる方、骨折で入院される方、その他疾患は様々です。年齢も比較的若くて活動的な患者様も多いため、全体的に明るい病棟です。私たちスタッフも皆様が安心して治療を受ける事ができるよう笑顔を決やさず、安心、安全な看護の提供に努めていきたいと思っています。

それでは新しくなった3階病棟を写真と共に紹介していきます!



ナースステーション

誰もが気軽に声を掛けやすいよう、開放的な雰囲気になっています。



手術室

3階にあります。



手術室入室の様子です。
緊張をほぐしながら看護師がつきそいます。



カルテを記入する様子です。電子システム化しています。



リハビリ部門とも連携して看護しています。



談話室

広くて落ちついた雰囲気です。自動販売機や新聞、雑誌もあります。



談話室から見える夜の風景です。土山駅や街が昼間とは違って見え、心が和む瞬間でもあります。

診察医師紹介

① 専門

② 出身大学

③ 認定医

④ ひと言



てい しゅう ちん
丁 秀 鎮

- ①消化器内科
- ②島根医科大学(現 島根大学医学部)
- ③日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化器病学会専門医
日本内科学会認定医
ピロリ菌感染症認定医

④出来るだけ患者様に近い存在の医師でありたいと思っております。お身体の不安・不調は気軽に御相談下さい。

たか だ とし ゆき
高 田 俊 之

- ①一般内科(糖尿病)
- ②神戸大学
- ④8月から本院に勤務になって
います。糖尿病を中心に外
来診療を行ってまいります
ので、よろしく願います。



新人(異動)職員紹介



看護師
もりもと ま ゆ こ
森本真祐子

6月より3階病棟で勤務させていただきます。出身は東京、大学は栃木、前職は浜松におり、主人の転勤に伴い、私もご縁があらはりま病院に転職して参りました。

まだまだ知識や技術など経験が浅い未熟者ですが、スタッフの皆様の丁寧なご指導、そして患者様の笑顔と「ありがとう」の一言に励まされながら日々頑張っております。これからも患者様が安心して治療へ臨めるよう、心のこもった看護を提供していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



作業療法士
はら ひろこ
原 広子

いなみ野病院で2年間勤務していましたが、今年の7月より異動して約1年間働かせて頂きます。いなみ野病院では患者様に適した余暇活動を提供し、楽しみをみつけることで活動性の向上に努めてまいりました。はりま病院では自宅退院される方も多いため、より生活背景を重視してリハビリを考える事が難しいです。作業療法士になって3年目になりますが、まだまだ学ぶことがたくさんあるなど実感させられます。充実した1年になるよう頑張ります。



看護師
はやさき ち さ こ
早崎知瑞子

この度、はりま病院、2階病棟で働かせて頂くことになりました。早崎と申します。みなさまにご指導頂き日々働くことができしております。

日々勉強で学ぶことが多く、自分の知識・経験不足を痛感しております。日々努力してまいりますので、ご指導よろしくお願い致します。



薬剤師
なかがわ まさと
中川政人

『病気を患っている人にとって薬はとても身近で関心のあるもの』のはずですが、種類の多さや使い方の難しさから、そう感じられない方も少なくないと思います。薬に対する疑問や不安をひとつでも多く取り除いて、薬を身近に感じ、関心をもっていただけるようお手伝いできればと思います。外来でも病棟でも見かけたら気軽に相談してください。自転車、カメラの話も大歓迎です。



診療放射線技師
よしむら たけはる
吉村文晴

平成24年2月より放射線課にて勤務をしています、吉村 文晴です。

以前の勤め先とは様々な事が違いはりま病院に入職してから、はや半年以上経ちました。失敗することもあります。先輩方に丁寧に教えて頂き、新しい環境にも慣れてきました。これからも、多くの事を学び、吸収していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

日本消化器内視鏡学会指導施設に認定されています

当院は下記の条件を満たし、日本消化器内視鏡学会指導施設に認定されています。

- ①内視鏡室が設置されていること
- ②専門医の教育に必要な各種内視鏡機器を備えていること
- ③週間検査件数が十分であること
- ④指導医1名以上が勤務、専門医2名以上が常務し、十分な教育体制がとられていること
- ⑤内視鏡検査室専属のコメディカルスタッフがいること
- ⑥病理部門が独立して存在するか、または病理診断を依頼することのできる病理専門施設が定まっていること。

日本消化器内視鏡学会指導医とは

日本消化器内視鏡学会指導医は、下記の条件を満たすものが得られる資格です。

専門医の資格を取得した後、3年以上指導施設またはこれに準じる診療施設において消化器内視鏡による診療に従事し、豊富な学識と経験を有し、指導能力を有するもの。申請時において8年以上継続本学会会員として、消化器内視鏡に関する診療および研究活動を行っているもの。

消化器内視鏡技師とは

日本消化器内視鏡学会認定の消化器内視鏡技師有資格者育成しています。

消化器内視鏡技師とは、医学基礎知識と内視鏡の専門知識と技術をそなえ、積極的に消化器内視鏡業務に従事するスタッフです。

当院でも、消化器内視鏡技師有資格者が内視鏡室に配置しております。

近くのホールに行ってみませんか?

事務 井上喜美代

この夏、初めて落語会に行ってきました。落語を見に行きたいと言われていたのですが、大阪まで行くのも…と二の足を踏んでいたら、近くの文化センターで落語会があるのを見つけました。行ってみてびっくり!もう40年も続いている落語会で、立ち見が出る程の盛況ぶりでした。

改めて見てみると、色々なジャンルで地方公演を行っています。探してみると案外近くで色々体験できるかもしれません。クラシックのコンサートも子供と一緒に楽しめるものもありますし、お芝居、歌舞伎、狂言等々。劇団四季も巡演しているので、近隣の街で楽しめる機会もあります。

もちろん、専用の劇場で公演するのとは違いますが、十分楽しめます。

歌舞伎や狂言はレクチャー付きで分かりやすくなっているものもあります。価格も少しお安くお手頃価格になっていますから、興味はあるけど、遠いし高いしと思われている方は、近くの会館やホームページを覗いてみて下さい。思っている以上にハマるかもしれませんね。

インフォメーション

■糖尿病外来が始まりました。

毎週木曜日午前診(受付時間8:30~11:00)
担当 高田俊之 医師

■ブログ始めました

はりま病院のホームページよりご覧になれます。
病院の食事を中心に更新してまいりますので、ぜひ一度ご覧ください。

編集後記

暑い夏でしたが、ふと気付くともうそこには!!秋の風!!心のリフレッシュを求めて、野の花を探したり、どんぐりを拾いに出かけませんか?癒しといえば、病棟紹介にも有りましたが、おすすめは2F・3Fの談話室よりのぞむ土山駅。朝陽の昇る様、夜の駅のネオンはとて癒されます。そして、時報を知らせる古代人の人形が踊っている事を皆さんご存知ですか?ちょっと足を止めて、眺めてみてください。 山根

